

基礎技術
研修
セミナー

活動推進・定着に向けての 「改善現場マネジメントの進め方」

～カイゼン文化が醸成されていない中小モノづくり企業へのKaizenPolicy～
～経験豊富な講師が、現場で視た「カイゼン活動推進&定着のポイント」を公開～

ものづくり企業にとって、日々の「カイゼン」は欠かせない活動です。それゆえ、カイゼンが定着し、文化となっている現場は大きな成果をあげています。しかしながら、カイゼン文化が根付いていない組織では、カイゼンの手法やヒントを提示しても、微動だにしないか、動いてもすぐに頓挫してしまう傾向にあります。

トップがいくら笛を吹けども現場は踊らず、《無関心》《知らんぶり》《非協力》《抵抗》等の声なき声の前に進まないことも少なくなく、現場のカイゼンを推進する立場にある方も、「ひとを巻き込んでの現場のマネジメントは本当に難しい」と嘆き節をつい口にしてしまいます。

“心・技・頭”がつながってこそ、ひとが動き、組織として歩み出すことができます。それならば、これらをつなげるからこそ現場のカイゼンマネジメントの根幹ともいえると考えます。

本セミナーでは、中小モノづくり企業を中心に、数々の診断、カイゼン推進、マネジメント構築にかかわってきたコンサルタントが、各社のカイゼン活動で体験した苦悩や成果から視えた「カイゼン活動推進&定着のポイント」を公開。

“ジンワリ/ヤンワリと!”、及び“一気呵成に!”との緩急を織り交ぜながら、如何に“何をつなげていくべきか”の視点から、組織がカイゼンに向けて歩み出す処方箋について事例を交えてお伝えします。

対象者(こんな方に)

次の課題をお持ちの中小ものづくり企業の工場長、カイゼン企画推進者、現場管理者

- カイゼン手法を学んでも行動につながらず、すぐに頓挫してしまう
 - なかなか成果が見いだせず、カイゼン活動が進まない
 - カイゼン文化が醸成されてなく、旧態依然のまま、ただ作業をこなすだけの現場になっている
- ☆カイゼン活動を活性化させ、利益拡大/競争力強化/組織モチベーションアップに結び付けたい

- ◎日 時 2018年5月23日(水)
10:00～17:00(昼食付)
- ◎会 場 日刊工業新聞社名古屋支社
6階セミナー会場
- ◎主 催 日刊工業新聞社

【科目と講師】

【講師】 人財育成プラネット パートナー講師 KWPコンサル(株) 代表取締役 **本多貴治氏**

【略歴】 1982年名古屋工業大学経営工学科卒業。日本電気(株)において海外現地生産企画・立上げ、および企業支援。その後(社)中部産業連盟にてマネジメントコンサルティングに従事。2006年独立、2008年にKWPコンサル(株)設立、現在に至る。(1994年～2010年 中小企業診断士)

【資格】 全日本能率連盟認定マスター・マネジメント・コンサルタント、JRC A登録QMS (ISO9001)主任審査員・管理技術者、ITコーディネーター協会認定ITコーディネーター

1. カイゼンは進んでいるか?

- ◇トップの期待と現場の声なき声
- ◇山あり谷ありのカイゼン活動
- ◇素敵な会社はつながっている

2. ストーリーが経営と現場をつなぐ

～現場で質問をひとつすれば経営と現場とのつながり程度がわかる～
～「よし、やろう!」を産出すストーリー明示を～

- ◇自分達満足を問う
- ◇利益と現場行動の関係性を理解する
- ◇“視点を外に、前に、そして自分に”参画型ストーリーづくりで腹落ち感

3. 流れ化思考が前後工程をつなぐ

～仕掛りの状態を見れば工程間のつながり程度がわかる～
～流れが見えるとアウトプットを見つめての管理がいと容易に～

- ◇工程毎職場から流れ化思考へ
- ◇溜まるポイントの山崩し
- ◇流れに沿った協力組織編制と思いやり対応

4. 今を映し出す現場及び道具立てが、この瞬間を結果につなぐ

～日報を見れば今と結果とのつながり程度がわかる～
～無意識に流されがちな日常を意識化～

- ◇現場で時間軸がどの単位で流れているか?
- ◇ムダの着眼は価値あるかな? 無いかな?
- ◇現場をよく見ろ! さて、何を見るんだ?
全社で現場目配りポイントの目線合わせを!

《対象》

製品の流れ: 淀みとペース

ひ と: 忙しく働いているようだと裏

設 備: 意識しやすい停止と見落とししやすい停止

モ ノ: 不要/余剰/消耗品端数・端材の散在

◇現場情報自動収集のしくみで“見られてたまるか消耗戦”の突破を!

5. 現場での共通認識に立ったコミュニケーションが部下・上司/メンバーをつなぐ

～現場での掲示物を見れば部下・上司/メンバー間のつながり程度がわかる～

～情報の共有化から感情の共有化・行動の整合性へ～

- ◇現場主義・実践主義でベクトル合わせと小さなガッツポーズづくりの促進

◇組織化と規律正しい職場づくりに向けて

◇組織/ひとの距離感と壁を取り崩すトライ

6. 個々の成長支援が、今を次世代につなぐ

～「任せた」との言葉の前後言動を見れば、成長支援の程度がわかる～

～成長の道しるべと姿の認識・共有化～

◇「ひとによる差です」と放棄すべき内容か?

◇「リーダーにしたんだから管理をしてほしい」では始まらない!

◇現場での実践的指導と基礎教育

7. まとめ

◇全体のつながりを見据えたうえで、「できること」

「手を付けられること」から始めよう!

◇目先の対処ばかりを優先してしまう中、カイゼン時間の確保をする決断を!

◇明日からの To Do!

自治体等の助成金について

以下の市内の中小企業（製造業）の方は各種補助金事業等の対象となる場合があります。詳しくはセミナー申し込み前に各担当部署にご確認ください。

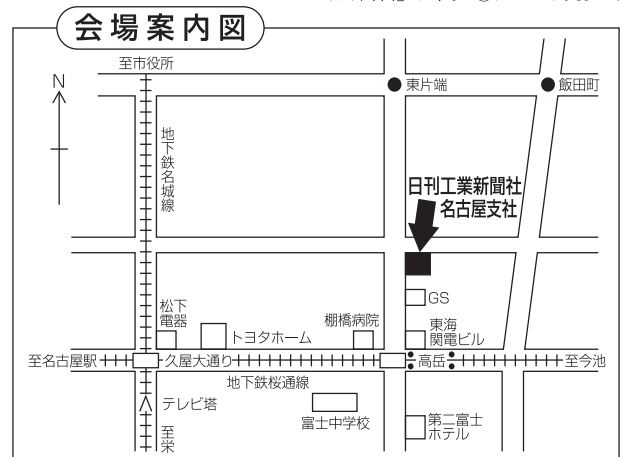
自治体	補助金名	TEL	担当部署
1 愛知県 豊田市	中小企業育成事業補助金	0565-34-6643	ものづくり産業振興課
2 〃 安城市	がんばる中小企業応援事業	0566-71-2235	産業振興部商工課
3 岐阜県 下呂市	下呂市事業所人材育成支援事業	0576-24-2222	観光商工部商工課
4 三重県 津市	津市中小企業振興事業補助金	059-236-3355	商工観光部経営支援課
5 富山県 氷見市	技術研修等派遣助成金	0766-74-8105	企画振興部 商工・定住・都市のデザイン課
6 長野県 茅野市	茅野市中小企業人材育成等支援事業補助金	0266-72-2101	商工課
7 〃 長野市	長野市ものづくり産業中小企業等人材育成事業補助金	026-224-6751	産業政策課企業立地推進室
8 福島県 二本松市	二本松市中小企業人材育成補助制度	0243-55-5120	商工課商工振興係
9 〃 喜多方市	喜多方市組合団体等事業育成補助金	0241-24-5233	商工課
10 岡山県 玉野市	玉野市中小企業ステップアップ支援事業	0863-33-5005	商工観光課

開 催 要 項

- 定員 42名
 - 受講料 43,200円（消費税・テキスト代・昼食代を含む）
*複数人数同時にお申し込みの場合2人目から38,880円
日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の
方は15%割引とさせていただきます。
但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適
用させていただきます。
 - 申込方法 申込書を郵送又はFAXにて下記にお申込下さい。
ホームページからもお申し込みできます。
受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催
日1週間前までにお支払い下さい。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの
受け付けとさせていただきます。1週間前までにご連絡がない
場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を
頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。
 - 申込先 日刊工業新聞社名古屋支社 イベントG
〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28
TEL.052(931)6158(直通) FAX.052(931)6159
ホームページアドレス: <http://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>
 - 銀行振込先 三菱東京UFJ銀行栄町支店
普通預金 247021 (株)日刊工業新聞社名古屋支社
- ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関で
ご来場ください。なお、当日の録音・録画は固くおことわり申し上げます。

会場までのご案内

日刊工業新聞社名古屋支社 交通案内
名古屋市中区泉2-21-28
TEL.052(931)6158(直通)
名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り車。
4つ目「高岳」下車。①出口より徒歩3分。



お申し込みは **FAX(052-931-6159)** どうぞ!!

(切 取 線)

受講申込書 187523		5/23 改善現場マネジメントの進め方	
フリガナ ※会社(工場)名		※電話 ※FAX	
E-mail		※主要製品名	
※所在地 〒		※参加者氏名	
※参加者氏名		※所属部課及び役職名	
フリガナ		@¥43,200 *複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円	
フリガナ		名分	
フリガナ		計 円	
開催日の1週間前までにお振込みください。 銀行振込(月 日支払い予定) ※振込手数料は貴社にてご負担下さい。		社内 _____ 部 _____ 課 教育担当者 氏名	
<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員		<input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員	

※印の箇所は楷書で必ずご記入下さい。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

日刊工業新聞社名古屋支社・イベントG 宛

今後、ご案内を希望しない方は
右記にチェックして下さい。